

私たちはボランティア精神のもと
「市民後見人」として、地域社会に貢献することを目指します。

会報/市民後見人の会 No. 158

2021年1月20日発行 通巻No.168号

創刊2007年2月26日

発行/特定非営利活動法人 市民後見人の会

〒140-0014 東京都品川区大井1-15-1 品川成年後見センター分室3階

TEL: 080-3912-3259 (通話専用 月～金曜日の10時～16時の間対応します。)

TEL&FAX: 03-6303-8265

MAIL: npokouken@gmail.com HP: <http://www.shiminkoukenninnokai.jp>

◆「ポストコロナ」を見据えた活動を！！◆

NPO法人市民後見人の会理事長 古賀忠壹

2021年正月、私たちは政府の緊急事態宣言下にあります。コロナ禍の死者は世界で計200万人を超えました。夜明けが見えない不安な新年だとしても、戦後最大の都市災害と記録された阪神大震災(1995年)や国内史上最大の自然災害と位置付けられ早10年を経過する東日本大震災(2011年)を経験してきた会員各位は、知恵を絞りながら日常生活を元気に送っておられることと推察します。本年も地道に会活動を続けていきましょう。

今年の総会は6月13日を予定しています。昨年は、コロナ禍で書面優先総会となりましたが、今年はそうならないよう祈念しながら予定表に「出席するぞ」と記しておいてくださることを、切にお願いします。

さて、会の現況ですが、会員数は、95人(男39人・女56人▽品川区内在住者71人▽60歳代を中心に40、50、70歳代が大部分)です。活動の現状ですが、法定後見の累計受任数は51件(内、支援者死亡などによる終了件数32件)です。任意後見契約も1件あり現在見守り契約活動をしています。活動の実態は、コロナ禍のため、高齢者施設への訪問が制限されています。後見担当者は、パソコン画面を見つめながらのリモート面会や施設職員に電話をしての健康・生活面の聞き取り等、様々です。また、地域への貢献を視野に入れ、昨年開設した「こうけんカフェ」も、会場への立入禁止で1回しか開催できませんでした。

会員各位には、当会の定めた「新型コロナ感染対策」に基づいての活動をお願いしているので、事務局と3部会の活動も必要最小限の人数で、最大の効果を求める事態となっております。困難ではありますが、「認知症になっても安心して暮らせる社会」実現の目標に向かって、コロナ禍後(ポストコロナ)を見据えた活動が必要と考えています。

◆スキルアップ研修◆

研修・相談部会主催によるスキルアップ研修が、昨年12月20日（日）、品川区立中小企業会館会議室で18名の会員が参加して開催されました（14：00～16：00）。

テーマは「品川区の成年後見制度利用促進『基本計画』の進捗状況」、講師は品川区社会福祉協議会品川成年後見センター所長・小佐波幹雄さんです。

最初に「成年後見人は親族後見人、専門職後見人、市民後見人とあるが、社会経験豊富な市民後見人は身上保護の専門職であり、市民後見人の重要性は益々高まっている」と述べられ、続いて以下の項目等について詳細な説明がなされました。その後の質疑応答も活発に行われ充実した2時間でした。

○「基本計画」の考え方、○「基本計画」のポイント、○「基本計画」の現状、○「品川区における地域連携ネットワークのイメージ」○「品川区の早期発見の仕組み」○「行政と連携した後見センター」○「地域の『担い手』の育成と支援」○「市民後見人の特徴」○「地域の課題」○「市民後見人に求められる資質」○その他



◆終活◆

昨年12月14日（月）、下記のとおり本会会員・石森陽子さんがスピーチを行いました。

「やしおカフェ」（令和2年度品川区認知症カフェ助成事業）

主催：八潮みんなでまちづくり 共催：NPO法人協働まちづくり

場所：こみゅにていぷらざ八潮第3交流スペース

講師：石森陽子（終活カウンセラー、看護師）

議題：終活～自分らしく生きるために～

高齢者にとって切実かつ大事な「終活」について以下の構成で、長年の看護師経験を基に分かりやすく丁寧に語られ、参加者の皆さん（15名）は熱心に耳を傾けていました。

1. はじめに ～終活って？～
2. 自分のこと ～おいたちから～
3. 健康について ～医療や介護の希望を明確にする～
4. 財産 ～将来の目的・資産活用を明確にする～
5. 葬儀とお墓 ～私のエンディング（最後）の願い～
6. 大切な人たちへ ～自分の素直な気持ちを伝える～
7. マイウェイ ～自分の人生、終焉までの過ごし方～
8. まとめ



◆2020年度12月度理事会報告◆

1. 開催日時 2020年12月21日(月)17時30分～19時00分
 2. 開催場所 荏原第五区民集会所第3集会室
 3. 出席理事 朝倉鈴子、大金修、金城清、古賀忠壹、斉藤裕二、杉谷徹夫、杉山麻里子、高原三平、馬庭俊一郎各理事(理事総数 10名)
 4. 欠席理事 内山恵子理事
 5. オブザーバー 國枝園子、小松統各監事 (敬称略)
 6. 議事
- <審議事項> 特になし。
- <協議事項>

① コロナ対策について別添資料により協議して以下の結論を得た。(高原)

- ・事務所オープン時間：10時00分～15時00分(従来は10時00分～16時00分)
- ・押印時間：月曜日10時00分～12時00分、木曜日は無し。(従来は左記の他、木曜日9時00分～9時30分)。なお特別措置として、「押印依頼書」に必要事項を記入し事務局ボックスに入れれば、月曜日、木曜日に押印し、該当号ボックスに入れる。
- ・その他：上記を除き、基本的には、9月14日発信の「新型コロナ感染対策について」を踏襲する。また、事務所に加湿器等を備えることとする。
- ・実施日：2021年1月4日(月)からとする。

② 2020年度業務指導委員会(11月30日実施)について、別添記録により協議した。なお、委員会のあり方については継続協議事項とした。主な意見は以下に記す。(高原、斉藤)

- ・「各委員(外部有識者)より、本会の後見活動に対して評価を得ている。自信を持って良い」、「市民後見人として困難事例に良く対応しているとの話はあるが、市民後見人の見方(尺度)を低く見ているのでないか」「本委員会の目的は何か」「第三者評価を得るといったことも趣旨のひとつだ」「個々の問題点の具体的な回答になっていないのでは」「これだけの情報では、具体的アドバイスは難しいかも。委員に直接相談することは問題ない」「委員の一言一言は、私達後見人にとって参考になる」「会としてどう捉えるかの検討もあったほうが良い」等

③ 2021年度総会に向けての日程案等について別添資料により協議した。(高原)
(2021年度総会は、6月13日(日)開催予定とした)



<報告・連絡事項>

- ① 2020 年度市民後見人養成講座について以下の報告があった。(杉谷)
 - ・チラシ (A4 判表裏) 3 千部が完成。区内 56 か所に 1 月上旬設置予定
 - ・1 月 21 日付区報「しながわ」に掲載
 - ・各役員の広報協力依頼
- ② スキルアップ研修 (12 月 20 日実施) の報告があった。(杉谷)
 - ・テーマ「品川区成年後見制度利用促進計画」について
 - ・講師 品川成年後見センター所長 小佐波幹雄氏 ・参加者 18 名
 - ・上記テーマの他「立替基金」、「社協の死後事務」(別添資料)の説明
- ③ 2021 年中長期日程 (1 月～6 月) について別添資料により連絡があった。(高原)
- ④ 葬儀費用値上げについて別添資料により報告があった。(高原)
- ⑤ 会報 12 月号 (12 月 22 日発行予定) について概要報告があった。(金城)
- ⑥ 浦安市社協・市民後見人との情報交換会 (12 月 19 日実施) について別添資料により報告があった。(高原)
- ⑦ その他
 - ・内閣府の公益法人への立入検査結果の報告が別添資料によりあった。(高原)
 - ・本日 51 号案件の審判書 (後見類型) が届いた旨報告があった。(斉藤)
 - ・毎月の後見記帳日の事務所オープンは午前 9 時との連絡があった。(斉藤)



(記 高原三平)

新しい年を迎えました。新型コロナウイルスがますます猛威を振るっており、気持ちの晴れない日々が続いています。自分を守り他者を守るためにもマスク着用等の十分な配慮・用心が必要な事は言うまでもありません。そういう中で興味深い記事を眼にしました。『週刊朝日』(2020 年 12 月 11 日号) 連載エッセイ「帯津良一のナイス・エイジングのすすめ (連載 74)」です。帯津さん (1936 年生まれ、東大医学部卒、帯津三敬病院名誉院長、『貝原益軒 養生訓 最後まで生きる極意』など著書多数) が次のように言っています。

「外を 1 人で歩いて『3密』ではない状況で、なぜマスクをするのでしょうか。私はマスクは決して体にいいものではないと考えています。必要でない時はすぐにはずしてほしいと思います。マスクは『必要悪』です。マスクは新型コロナに対抗するための免疫力を低下させます。それは免疫力の源泉が呼吸にあるからです。呼吸で大事なのは、息をしっかり吐き切ることです。マスクをしてはどうしても呼吸が浅くなります。マスクをすればするほど、免疫力を低下させて自分を新型コロナに感染しやすくしているという矛盾を理解してほしいと思います」。もちろんこの意見に反対する専門家も多くいるでしょうが、「そういうものか」とも思いました。会員の方たちのご健康をお祈りします。(編集 金城 清)